

中央区の“ちょっとすごい!”を見て歩き

中央区まちかど展示館

【特集】「町名の由来」に
まちの歴史あり

日本橋

江戸の商売人が躍動したまち

大伝馬町・小伝馬町・小舟町・本町

まちの歴史あり

2025
Winter
Vol.19

日本橋編 Part.9

TAKE
FREE

展示館の見どころや最新情報をご紹介
まちかど展示館訪問
食の痕跡、絵画の道楽
まちかど展示館訪問
江戸通り周辺の趣あるスポットを巡る
日本橋エリア散策MAP
[連載]
中央区の食とアートを知る
[連載]



中央区まちかど展示館公式SNS



ホームページURL
<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp>

季刊誌 中央区まちかど展示館 Information

既刊Vol.01～Vol.18もダウンロードできます



中央区まちかど展示館ウェブサイト季刊誌ダウンロードページ

<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/book.html>

次号Vol.20は銀座・京橋編です。江戸文化を今に伝える各展示館を訪問します。お楽しみに!

○発行日:2025年12月10日

○発行:中央区まちかど展示館運営協議会(中央区民部文化・生涯学習課内) tel:03-3546-5346 mail:b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp
○制作:Asaba & Co ○デザイン:AD-NA ○撮影:kt-design ○文:秋元祐子・沖山純久 ○イラスト:堀口珠美

POST CARD
104-8404
キリトリ

恐れ入りますが
85円切手を
貼って
お出しください。

中央区築地1-1-1 中央区役所(文化・生涯学習課内)
中央区まちかど展示館運営協議会
中央区まちかど展示館アンケート係行

- 差し支えない範囲でご記入ください。
お答えいただいた個人情報は、本紙アンケートの目的のみに使用されるもので、その他に使用することはございません。
当選された方には、下記住所に賞品を送付いたしますので、お間違いのないようにご記入ください。
- ご住所
○お名前
○メールアドレス
○電話
○職業
○年齢

「町名の由来」にまちの歴史あり

江戸時代のまちの役割や特徴が、今も町名に残ります。古い写真や錦絵とともに、歴史の足跡を探してみませんか。

日本橋 大伝馬町
徳川家康に仕えた馬込勘解由が、1590年家康に伴つて江戸に赴き、吳服橋御門内にあった宝田村にて伝馬役、名主役を務めました。1606年伝馬役所が移転、当地に屋敷を構えたことで大伝馬町に。伝馬制とは、家康が制度化した、公用の人や荷物を次の宿までリレーで運ぶ仕組みのこと。



宝田恵比寿神社/中央区撮影/昭和50年
※現在の様子はP13、15をご覧ください。

この地で江戸のメディア王へ!
蔦重の店「耕書堂」

18世紀後半の江戸で、吉原の小さな貸本屋から始まり、33歳で当時の出版文化の中心地、通油町(とおりあぶらちょう)に進出した蔦重屋重三郎。江戸随一の商業地にて、黄表紙、狂歌本、浮世絵等の大ヒット作を次々刊行し、名実ともに江戸有数の地本(じほん)問屋になりました。時流を捉えること、才能を見出すことに長け、太田南畠、山東京伝、恋川春町、十返舎一九らの戯作者や喜多川歌麿、東洲斎写楽という巨匠の作品出版に携わり、47歳で没するまでここで大活躍しました。



馬込勘解由屋敷跡の説明板



べっぴん市/臼井一雄撮影/昭和43年



2025年新しく設置された、耕書堂跡地の説明板。

日本橋 小伝馬町

大伝馬町同様、日比谷入江奥の千代田村が移転、名主の宮辺又四郎が伝馬役を務めたことに由来。街道ではなく江戸府内の継立を行う小伝馬町が江戸初期を代表する町として発展しました。

昭和3年竣工した
旧十思小学校の校舎は
現・十思スクエア



十思小学校/京橋図書館撮影/昭和32年



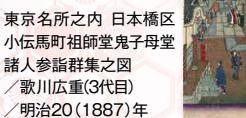
荒れ果てた
牢屋敷跡地に
明治16年、
身延別院を建立
多くの人が
訪れた



小伝馬町三丁目から小伝馬町
一丁目を望む/京橋図書館撮影
/昭和32年



現・十思公園に祖師堂
として創建、関東大震
災後に現在地へ。



東京名所之内 日本橋区
小伝馬町祖師堂鬼子母堂
諸人參詣群集之図

/歌川広重(3代目)

/明治20(1887)年



日本橋魚がし旧天王祭団扇投げ之図/春齋年昌/明治22(1889)年



小舟町大ちょうちん/中央区撮影
/昭和63年



2024年の天王祭では団扇投げを
再現!伊場仙が実際に製作。

日本橋 小舟町

1603年の町割で下舟町とされるも後に西側の大船町に対して小舟町に。かつての東西堀留川が物流に大いに利用されて繁栄。海産物等で財を成した商人達が浅草寺に大提灯を奉納して以来、約360年にわたり定期的に続けるほか、神田明神境内にある小舟町八雲神社の祭礼を4年に一度盛大に行っています。

日本橋 小舟町

1603年の町割で下舟町とされるも後に西側の

大船町に対して小舟町に。かつての東西堀留川が

物流に大いに利用されて繁栄。海産物等で財を成

した商人達が浅草寺に大提灯を奉納して以来、約360年

にわたり定期的に続けるほか、神田明神境内に

ある小舟町八雲神社の祭礼を4年に一度盛大に

行っています。

町八雲神社の祭礼

を4年に一度盛大に

行っています。

町八雲神社の祭礼

を4年に一度盛大に

行っています。

町八雲神社の祭礼

を4年に一度盛大に

行っています。

丁目の区分があった頃
江戸通りを走る都電は
昭和42年廃止に

江戸通りを走る都電は
昭和42

小津史料館

創業370余年の伝統を未来に繋ぐ、紙商の多様な展示。



和紙の原料、コウジやミツマタなど実物に触れることもできます。



「和紙ができるまで」を学べる部屋では紙漉きの製造工程を詳細に解説。



展示館にはいつもスタッフが詰めていますので、どんなことでもお訪ねください

ニット製のリバーシブルトートバッグ。
和紙20%混入の糸を使用。



和紙糸混入のソックスは人気商品。
サラッとした質感が特徴です。

種子を混ぜ込んだ和紙のカレンダー。
使用後は水やりで栽培が楽しめます。

お話を伺った方（左から）
小津史料館 館長 一瀬 正廣さん
同顧問 松浦 節也さん



小津史料館

管理者:株式会社小津商店(平成23年度認定)

- ④ 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル ④ 03-3662-1184
- ④ 月～土曜日(年末年始等を除く) ④ 10:00～18:00
- ④ JR新日本橋駅5番出口 徒歩2分 ④ 小伝馬町駅3番出口 徒歩5分
- ④ 三越前駅A5番出口 徒歩7分

年から英語と日本語の無料音声ガイドも開始して好評です。そして史料館と同階に併設されている「小津和紙照覧」では、日本各地の手漉き和紙を集め、気軽に触ることもできます。また和紙の入った繊維で編まれたソックスなど、和紙の新しい試みも展示し、販売もしています。「和紙のできるまで」という展示室では、和紙の製造工程や紙と暮らしの歴史を豊富なイラストや実物でわかりやすく解説しています。



伝統ある印をあしらった古材は、本社敷地内から出土した旧店舗の建材。



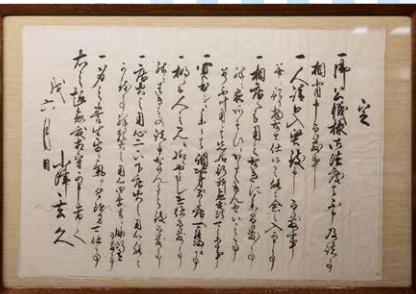
和紙で創作した四季の草花が、史料館入り口で来場者を迎える。



日本橋とともに進化してきた小津和紙の歴史が、豊富な資料で語られています。



小津和紙
界隈の地図を、浮世絵風に仕立てたポップな地図。



創業者が店員の心得を定めた七カ条の掲書。
昔は全員で唱和していたとか。



ー伝統ある小津の印について?

当社を象徴する印「△に久」の三角形は、龍や蛇の鱗を表しています。鱗は連綿とびつりと連なっていることから「生命力」の象徴とされ、また「魔除け」の意味もあり、縁起の良い柄とされてきました。「久」は文字通り、いく久しくと永続を願うもので、私たちは「ウロコキユウ」と呼んでいます。この印は承応2(1653)年の開業時から使われています。創業者・清左衛門長弘は紙問屋に奉公していましたが、働き者で篤実な人柄を見込まれ、信頼を得て店を譲り受けたのです。同時に、屋号も印も引き継ぎました。そして、生活全般で必要不可欠だった紙需要の増大に的確に応えていたのです。

ー史料館以外の見所は?

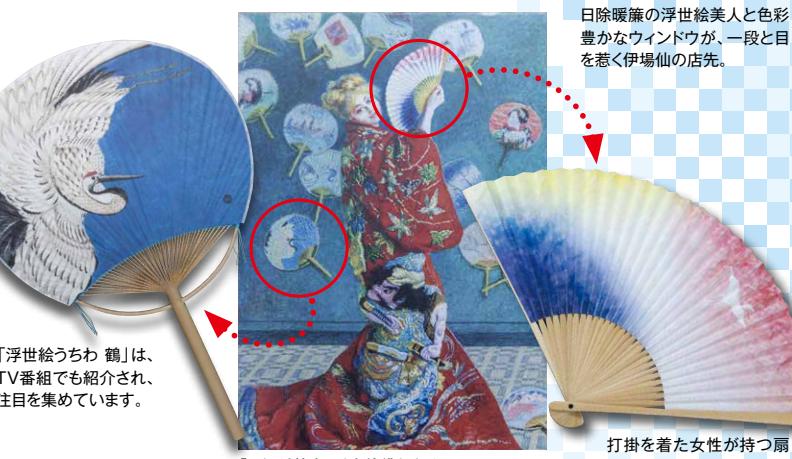
史料館では、東京都中央区登録有形文化財として保存指定の古文書2,000余点のうち、約1,000点の史料を順次公開し、小津と紙に関連する歴史を展示しています。昨

伊場仙浮世絵ミュージアム

浮世絵の版元がつくる团扇や扇子の満ちる空間で「江戸の粹」に浸る。



日除暖簾の浮世絵美人と色彩豊かなウンドウが、一段と目を惹く伊場仙の店先。



「浮世絵うちわ 鶴」は、TV番組でも紹介され、注目を集めています。

『見返り美人図』を彷彿とさせる
クロード・モネ作『ラ・ジャポネーズ』

打掛を着た女性が持つ扇子も復刻・制作。トリコロールカラーが印象的。

ー15代目就任の抱負を。

社長に就任したのは令和7(2025)年8月です。400年以上の暖簾の重みを徐々に実感しているところですが、古き良き伝統を守り抜くとともに、新しいことにもチャレンジしていく。京都でも職人は不足し、材料の入手も困難な状況にならっています。そうした伝統工芸と共に通する課題に向き合いつつ、インバウンドも戻り、扇子や团扇は海外の方にも評判が良いので、これからは海外に販路を拡大していきたいですね。また、若い方々のニーズに合わせた扇子や团扇も提案していきたいと考えています。

ーモネの团扇と扇子について。

クロード・モネ作の『ラ・ジャポネーズ』の中で、背景に飾られている团扇の中に、当店が版元として制作していたものもあったと思われます。その一部を復刻し、販売しています。この絵が描かれた明治9(1876)年ごろは、フランスで大流行していたジャポニズムの影響もあり、多くの



著書の調査には
5年もかかり、
大変でした

浮世絵的魅力に
気づいたのは
中学のころでした



お話を伺った方(左から)
会長 吉田 誠男さん
代表取締役社長 吉田 拓史さん



大正12(1923)年の関東大震災後に建てられた新店舗。

9頭の馬が走って
「うまくいく」。
勝ち虫と呼ばれる
縁起の良いト
ンボ柄など、江
戸扇子は洒落や
粹が信条。



8枚の版木と刷り上がりの浮世絵、
歌川広重作「名所江戸百景 柳しま」。

会長の著書
『遠き海原』(サ
ンダーアールラボ
刊)は、小説に社史を
織り交ぜた渾身の作。



伊場仙浮世絵ミュージアム

管理者:株式会社伊場仙(平成23年度認定)

④ 東京都中央区日本橋小舟町4-1 ④ 03-3664-9261
④ 月~土曜日(祝日、年末年始等を除く) ④ 8:00~20:00
(店舗は月~土曜日/10:00~18:00/祝日/年末年始等を除く)
④ JR新日本橋駅5番出口 徒歩5分
④ 三越前駅A6番出口 徒歩6分

团扇や浮世絵がフランスに輸出され、その中に伊場仙のものもあったと思われます。当店は江戸後期から豊国、国芳、広重など人気絵師の版元でしたので、浮世絵を团扇に刷り込んで販売し、人気を博しました。今は浮世絵だけでなく、江戸の粹な遊びの「判じ物」の絵柄や、和紙に江戸の伝統色を染め、扇面には熟練した職人の手描きで細い線を施しています。

小伝馬町牢屋敷展示館

牢獄を詳細に再現した模型と遺構から、小さな歴史の断片を探る。



発見された主な石垣と周辺の遺構をイラストや写真で詳細に記した解説板。



牢屋敷の石垣の石は、伊豆周辺で切り出された安山岩を四角錐に加工したもの。



十思スクエア別館の奥には、足元のガラス越しに上水木樋(じょうすいもくひ)と井戸も展示。



隣接する十思公園には東京都指定文化財の「銅鐘 石町(こくちょう)時の鐘」や吉田松陰終焉の地の碑などが見られます。



小伝馬町牢屋敷展示館

管理者: 小伝馬町一の部町会(平成23年度認定)

- ④ 東京都中央区日本橋小伝馬町5-19 十思スクエア別館内
- ⑤ 03-3546-5346 中央区区民部文化・生涯学習課内
- 月~金曜日(祝日・年末年始等を除く)9:00~17:00
- ⑥ 年末年始を除く毎日 ⑦ 9:00~20:00
- ⑧ 小伝馬町駅4番出口 徒歩3分

犯が多く収監されていて、同志らによる囚人の奪還を阻止するためと推測されます。慶長18(1613)年に牢屋敷が伝馬町につくられたころは、まだここは江戸の隅でした。江戸の土地は7割が武家で、残り3割に寺社と町人が密集していました。日本橋界隈は江戸の中心地ですから、急速な人口増大には抗えず、明治8(1875)年に囚人を市ヶ谷監獄に移送。囚獄は取り壊しとなり、257年に及ぶながい役目を終えました。

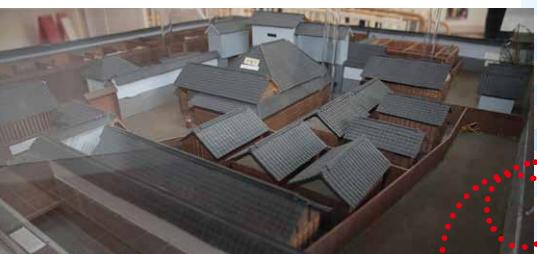
牢屋敷は16回も火災に遭っているんです



お話を伺つた方
中央区教育委員会
図書文化財課郷土資料館
仲光 克顕さん



牢屋敷の表門に向かい罪人を運ぶシーンをフィギュアで再現。



牢屋敷は現在の中央区日本橋小伝馬町3~5番を占め、安永4(1775)年以降の面積は2677坪余(約8834平方メートル)でした。



展示館前の「時の鐘通り」を挟んだ向かいにある大安樂寺。処刑場で亡くなった人たちの慰靈のために明治8(1875)年に創建されました。



「囚獄」というのがこの施設の正式な名称です。そもそも幕府の施設には町名はつけられておらず、旗本や大名の屋敷にも住所はありませんでした。古地図にも「囚獄」と記されていますが、周囲が伝馬町だったのでそう呼ばれたと思いますが、単に「牢屋敷」とも呼ばれています。

牢屋敷の正式名称もまた「囚獄」なのです。徳川家康から命を受け、囚獄を務めた石出帶刀は世襲名で、代々その任にあたりました。

囚獄という施設は、未決囚を収監する所で、判決は町奉行所に移動して行われ、また囚獄に戻り刑が施行されました。首斬場の跡地は、通り向かいの大安樂寺の敷地内にあります。

石碑も残されています。

一発掘された石垣について?

平成24(2012)年の発掘調査で出土した石垣は、牢屋敷内も強固な石垣で仕切られていたことを示す貴重な発見でした。その目的は脱獄防止もありますが、牢屋敷は思想

江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館

江戸時代からの伝統の技が、現代の先端技術を支える。



→ 将軍家認可の店名とか？



刷毛やブラシを天井から無数に吊り下げた陳列など、独特な風情を醸す店内に目を奪われる。



料理刷毛やバン刷毛などもサイズ展開し、プロの需要に細かく対応。

品質の証となる丸に「江」の焼印が、刷毛の機能美に味わいもプラス。



毛先をつぶさないよう一穴一穴手で植え込む江戸職人の技が継承されています。



竣工は大正13(1924)年。日本の町屋建築に西洋の建築と意匠が融合した「看板建築」。

あらゆる用途に
対応した刷毛、
ブラシは3000
種類以上。



東京都指定の伝統工芸品に指定されている
経師刷毛や木版刷毛などを展示したケース。



建物の正面右側に掛けられた国登録有形文化財指定の銅板。



歌麿の浮世絵「髪梳き」や広重の「東都大伝馬街繁栄之図」など江戸情緒豊かな店内装飾。

大正時代の註文帳など、刷毛のほかにも歴史を物語る資料が見られます。

す。そこで平成22(2010)年にすべてを保存解体して、耐震補強と外部の改修工事を行つたんです。そして工事がやつと終わつたと思ったら、4ヶ月後に東日本大震災が発生したんです。この界隈も随分被害を受けましたが、大切な建物を失わずに済みました。店は正面からみると「刷毛」のように見える面白いデザインですし、2階の窓の装飾も凝つているので、それもぜひご覧になつてください。



江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館

管理者:株式会社江戸屋(平成25年度認定)

① 東京都中央区日本橋大伝馬町2-16 ② 03-3664-5671

③ 月~金曜日(祝日年末年始等を除く) ④ 9:00~17:00

⑤ 小伝馬町駅3番出口 徒歩3分 JR新日本橋駅5番出口 徒歩5分

江戸通り周辺の趣あるスポットを巡る

日本橋エリア 散策MAP

今回は江戸通りを中心に、
ぜひ行ってみたいスポットをご紹介。
歴史あるまちの魅力に出会えそう!

1 ovgo Baker Edo St. » P14

NYの街角にあるよ
うな雰囲気のヴィ
ガンスイーツのショ
ップ&カフェ。ヴィーガ
ン食と知らずに訪れ
てファンになる人も
多いとか。



2 Craft dip 3nowa » P14

20年程フレンチやホ
テルのレストランで修
業したオーナーシェフ
が4年前にオープン。
近隣の会社の人に信
頼されている確かな
味の洋食店。



3 カジュアルイタリアン Ren » P14

ご夫婦で営む、肩肘
張らずに楽しませる
イタリアンのお店。
旦那様が作る美味
しさと明るい奥様
のおもてなしに、常
連のお客様も多く
訪れます。



ア前にオープン。
昨年秋に十思スクワ
ーが美しい
女性オーナーが
新しい物を提供し
たいと、ヘルシーで
プレミアムフルーツ
バンドの専門ショッ
ップ。



5 DAWN ver.β » P15

日本国内外の外出が
困難な方が、分身
ロボット・オリヒメを
遠隔操作して、サービス
をしてくれる世界
で、ただ一つの常設
実験カノードです。

6 長崎屋跡 » P15

江戸時代の鎖国で西
洋で唯一通商できた才
蘭人。葉種屋長崎
屋は、カビタニ(商館)
長らが出生島から定期
的江戸参府でした。



7 宝田恵比寿神社 » P15

商売繁盛の神として
信仰される普段は無
人の小さな神社。毎年
10月19・20日は江戸時
代から続べつたら市
が開催され、大に賑
わいます。



中央区・江戸バス
北循環ルート
江戸バスの情報はこち
らから! ▲

まちかど展示館ホームページにて
見どころ散策コースもご紹介しています。



日本橋エリア散策

歴史スポットやひと味違うお店が
冬のまち歩きを豊かに彩ります。

おすすめ

※年末年始の休業日、臨時休業や営業時間の変更については、各店へお問い合わせください。



6 小伝馬町牢屋敷展示館
仲光さんおすすめ

長崎屋跡(中央区民文化財)

●住所
中央区日本橋室町4-2



オランダ人の定宿は

西洋文明の吸収の場
長崎屋に随行したケンペル、
シーポルト等の医師に会った
源内らが訪問し、この地は江戸
での貴重な外国交流の場に
見高い江戸っ子も興味津々
で北斎画にも描かれました。

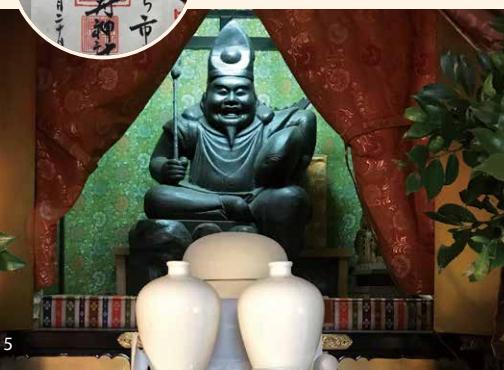
7 伊場仙浮世絵ミュージアム
吉田さんおすすめ

宝田恵比寿神社

●住所
中央区日本橋
本町3-10-11
※御朱印の授与は例大祭
の時などに限られます。



江戸の商売人が崇めた
大伝馬のゑびす様
元は江戸橋そばの宝田村の稻
荷神社でしたが、1606年
江戸城拡張の際、馬込勘解由
(まごめのかげゆ)とともに遷
座。勘解由が家康に下賜され
たと云う恵比寿像を後に御神
体とし、こう呼ばれるようにな
りました。



4 中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ

Tokyo Fruits&

フルーツサンド好き必見
上質素材のハーモニー
新鮮な季節のフルーツと、さつ
まいしてフレッシュな無添加
の特製生クリーム、ふわふわ
ながらっしゃり包み込む食
パン。各地の農園等から取り寄
せたこだわり素材が、絶妙の
バランスで至福の味わいに。

5 小津史料館
一瀬さんおすすめ

DAWN ver.β

遠隔地のバイロットと
ロボットでつながろう！
可愛い分身ロボットは店内で
はない遠隔操作による接客。
彼らにメニューを聞いたり自
己紹介したり、自由に会話
ながら飲食が楽しめます。先
進的な体験ができると外国
の方もいっぱい。



2 中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ

Craft dip 3nowa

色とりどりのバターの
ディップで魅惑の味変
手の込んだ各種フレーバーの
バターを、温かくなるライト
で溶かして食べる「クラフト
ディップ」が個性的で美味し
い！ランチのオムライスも絶
品ですが、店主の想いが垣間
見える夜のメニューをぜひ。

3 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館
演田さんおすすめ

カジュアルイタリアン Ren

本格派から創作まで
居酒屋感覚でイタリアン
和の食材や味を取り入れた独
自メニューも大人気。マグロと
アボカドのタルタル、江戸菜
のステイクサラダはリビ
ターの多さも納得です。バ
タ限定のランチタイムは、ア
ルグレイティーヌをサービス。



1 中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ

ovgo Baker Edo St.

誰でも安心の焼菓子は
Xmasギフトにも◎
卵・バター不使用、すべて植物
性の環境にも優しいクッキー
は、充分な甘さとボリューム感
で一枚でも大満足♪こだわり
のドリンク類も揃い、ひと休
みにも好適です。マフィンや季
節の味も要チェック。



日本橋 街を賑わせた牛鍋の香り

すしに蕎麦、饅に天麩羅、酒に珈琲、すき焼きにカレー、餃にあんみつ… 中央区には江戸から今に至る食の痕跡がたくさん散らばっています。浮世絵や日本画、洋画などアートの世界にヒントを得ながら、食の痕跡を追いかけ、絵画の道楽も満喫してみませんか。



林 綾野 キュレーター、アートライター

美術館での展覧会企画、美術書の執筆などを手掛ける。芸術家にまつわる「食」のレシピを制作、好物料理の再現などを通じてアートを多角的に紹介。著作に「浮世絵に見る江戸の食卓」(美術出版社)、「フェルメールの食卓」「絵本でよむ画家のおはなし ぼくはフィンセント・ファン・ゴッホ」(講談社)などがある。企画した展覧会「生誕100周年記念 安野光雅展」が立川PLAY! MUSEUMにて3月4日(水)~5月10日(日)開催予定。



①小林清親「日本橋夜」1881年(明治14年)
小林清親(1847~1915)は江戸に生まれ、二十代後半より版画家として活動。明治9~14年の間に、深い陰影表現により、光や影の様相を絶妙に描き出す「光線画」と名された新しい画法で注目を集めた。



画像提供:
①東京都立図書館
②中央区京橋図書館

②日本橋/季刊日本橋/明治初(1867)年
右手前から左奥へと日本橋が続く。江戸の頃から中心地として栄えた日本橋。明治の写真にも屋台や人力車が数多く見られ、賑わう様子が伝わる。

す。当初は関東では肉を割下で煮込む牛鍋、関西では肉を炒めてから味を加えるすき焼きが主流でした。伊勢重も牛鍋屋として開業しますが、関東大震災を機に関西風のすき焼きが関東でも広く親しまれるようになり現在に至ります。創業当時、牛肉を食べることは一般的ではなく、世間の目を憚るよう店の周りに高い塀を巡らしていたそうです。しかし明治5年、明治天皇が初めて牛肉を食したことが公表され、政府も牛肉食を奨励。伊勢重も人気店となっていました。まずはA5等級の良質なお肉のみを扱い、かつそれを熟練の料理人が「手切り」すること。そしてガスや電気ではなく水火鉢で炭火調理する伝統的なスタイルを守り通すこと。味の決め手は醤油をベースとした秘伝の割下。甘すぎず、お肉の旨みを絶妙に引き出してくれるそうです。

「日本橋は骨太な街で、時代の変化にもめげません。伝統の味を守り、共に働く人たちも納得できる店でありたいです」。時代の最前線にありながら、清親がこの絵を描いた頃から日本橋には変わらないものがあります。何かを続けていこうと努力を重ねる人たちの心意気もその

文明開花と共に現れたガス燈と牛鍋

夜の闇に包まれた日本橋にガス燈が灯ります。馬車や人力車、往来する人々の姿がシルエットとして浮かび上がり、ガス燈に照らされた影も小さく描かれ、幻想的な雰囲気です。この絵を描いたのは、明治から大正にかけて版画家として活躍した小林清親。光や影の表現を巧みに操りながら、かつてあった江戸の様子から日に日に変わゆく東京の情景を数多く描きました。

日本橋にガス燈が設置されたのは明治8(1875)年3月のこと。明治初頭、暮らしを変える技術や習慣、言葉や服装など、東京の街は新しいもので溢れています。そして食文化にも大きな変革が起ります。江戸では仏教を重んじていたため熟肉を口にすることは禁忌とされていましたが、西洋文化が流れ込むと事態は一変。1862(文久2)年、横浜に日本で初めての牛鍋を出す店が現れます。それを機に東京、日本橋にも牛鍋屋が次々にオープン。清親が描いたこの日本橋の街のあちらこちらにも牛鍋屋が点在していたということになります。

今も日本橋に店を構える「伊勢重」は明治2(1869)年に牛鍋屋として創業した老舗です。現在はすき焼き屋として看板を掲げています。

日本橋エリア

⑬ 伊場仙浮世絵ミュージアム

東京都中央区日本橋小舟町4-1 / 03-3664-9261
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 8:00~20:00(店舗は月~土/10:00~18:00/祝日・年末年始等を除く)
年末年始の営業 ◎年末:12/26(金)まで ◎年始:1/5(月)から

⑭ 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館

東京都中央区日本橋大伝馬町2-16 / 03-3664-5671
月~金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00~17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/26(金)まで ◎年始:1/5(月)から

⑮ 江戸東京組紐 龍工房体験展示館

東京都中央区日本橋富沢町4-11 / 03-3664-2031
月~金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 11:00~16:00
※要予約。展示の見学は予約不要。
年末年始の営業 ◎年末:12/26(金)まで ◎年始:1/5(月)から

⑯ 三勝ゆかた博物館

東京都中央区日本橋人形町3-4-7 三勝ビル1F / 03-3662-3860(平日11:00~16:00)
月・火・木~土曜日(祝日・年末年始等を除く) ※不定休あり※詳しくはInstagramをご確認ください / 14:00~16:00 ※1週間前までに要予約。見学は1時間以内。
年末年始の営業 ◎年末:12/26(金)まで ◎年始:1/6(火)から

⑰ 染物展示館・虎の檻

東京都中央区日本橋浜町2-45-6 / 03-3666-5562
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00~18:00(土曜日のみ17:00まで)
年末年始の営業 ◎年末:12/29(月)まで ◎年始:1/5(月)から

㉑ 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー

東京都中央区日本橋1-19-1 / 03-3278-6611
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 平日7:30~19:30 土曜日7:30~13:00
年末年始の営業 ◎年末:12/30(火)まで ◎年始:1/5(月)から

㉒ 兜町・茅場町まちかど展示館

東京都中央区日本橋兜町15-3 坂本町公園内
090-2465-4001(10:00~19:00)担当者:柴 / 通年 / 8:00~20:00

月島エリア

㉓ 佃まちかど展示館

東京都中央区佃1-2-10先 / 03-3546-5346[中央区民部文化・生涯学習課内 月~金曜日(祝日・年末年始等を除く)9:00~17:00]
通年 / 常時開館

㉔ 勝どき・豊海歴史資料展示館

東京都中央区勝どき1-9-8 月島第二児童公園内 / 03-3546-5346[中央区民部文化・生涯学習課内 月~金曜日(祝日・年末年始等を除く)9:00~17:00]
土・日曜日 / 10:00~16:00

㉕ 小伝馬町牢屋敷展示館

東京都中央区日本橋小伝馬町5-19 十思スクエア別館内 / 03-3546-5346[中央区民部文化・生涯学習課内 月~金曜日(祝日・年末年始等を除く)9:00~17:00] / 年末年始等を除く毎日 / 9:00~20:00
年末年始の営業 ◎年末:12/28(日)まで ◎年始:1/4(日)から

㉖ イチマス田源 吳服問屋ミュージアム

東京都中央区日本橋堀留町2-3-8 田源ビル / 03-3661-9351
年末年始等を除く毎日(不定休あり) / 10:00~17:30
年末年始の営業 ◎年末:12/28(日)まで ◎年始:1/5(月)から

㉗ つづら学習館

東京都中央区日本橋人形町2-10-1 / 03-3668-6058
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 10:00~17:00
※つづら制作のため入店できない場合があります。
年末年始の営業 ◎年末:12/26(金)まで ◎年始:1/6(火)から

㉘ 箱崎町箱四町会神輿庫

東京都中央区日本橋箱崎町26-1 / 03-5962-3137(平日 月~金曜日 9:00~12:00)
通年 / 8:00~18:00

㉙ 江戸表具展示館

東京都中央区日本橋浜町2-48-7 / 03-3666-6494
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00~18:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(土)まで ◎年始:1/6(火)から

㉚ 聚玉文庫ギャラリー

東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー / 03-3272-3801
通年(祝日・年末年始を除く) / 10:00~18:30(土・日は17:30まで)
年末年始の営業 ◎展示館にお問い合わせください

まちかど展示館

江戸開府以来400年以上の歴史と伝統を誇る、中央区に伝わる多様な文化資源を紹介しています。中央区は江戸時代より、わが国の文化・商工業・情報の中心として発展してきた長い歴史と伝統を誇る由緒あるまちです。この魅力を皆様に広く知りたいため、地域の文化資源を「まちかど展示館」として整備し、開設しています。展示館の規模や展示方法はそれぞれですが、中央区が誇る文化の一端をかいみることができます。中央区の“ちょっとすごい”をぜひ、お訪ねください。

銀座・京橋エリア

㉑ 江戸ほうき展示館

東京都中央区京橋3-9-8 白伝ビル1F / 03-3563-1771
月~土曜日・祝日(年末年始等を除く) / 10:00~19:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(土)まで ◎年始:1/5(月)から

㉒ 仏壇・仏具の歴史館

東京都中央区銀座7-14-3 / 03-3542-5771
年末年始を除く毎日 / 10:00~18:00
年末年始の営業 ◎年末:12/29(月)まで ◎年始:1/5(月)から

㉓ 渡邊木版画展示館

東京都中央区銀座8-6-19 / 03-3571-4684
月~土曜日(年末年始等を除く) / 月~土曜日11:00~18:30 祝日11:00~17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(土)まで ◎年始:1/6(火)から

㉔ 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館

東京都中央区銀座8-7-18(見番通り)かなめ屋ビル1F / 03-3571-1715
火~日曜日(祝日・年末年始等を除く) / 火~金曜日11:00~20:00 土・日曜日12:00~17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(土)まで ◎年始:1/6(火)から

㉕ ミズノプリントイングミュージアム

東京都中央区入船2-9-2 ミズノプリテック株式会社 6F / 03-3551-7595
月~金曜日(祝日・年末年始等を除く) ※要予約 / 10:00~12:00, 13:00~16:00
年末年始の営業 ◎年末:12/19(金)まで ◎年始:1/13(火)から

㉖ のれん・提灯・下絵の展示館

東京都中央区築地6-5-5 / 03-3541-3741
月~土曜日(祝日・年末年始・市場休業日等を除く) / 9:00~17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/9(火)まで ◎年始:1/13(火)から

日本橋エリア

㉗ 楊枝資料館

東京都中央区日本橋室町1-12-5 / 03-5542-1905
月~土曜日(祝日を除く) / 月~金10:00~17:00 土12:00~17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/26(金)まで ◎年始:1/5(月)から

㉘ Daiichi Sankyo くすりミュージアム

東京都中央区日本橋本町3-5-1 / 03-6225-1133
火~日曜日・祝日・振替休日(年末年始等を除く) ※要予約 / 10:00~17:30
年末年始の営業 ◎年末:12/28(日)まで ◎年始:1/6(火)から

㉙ 小津史料館

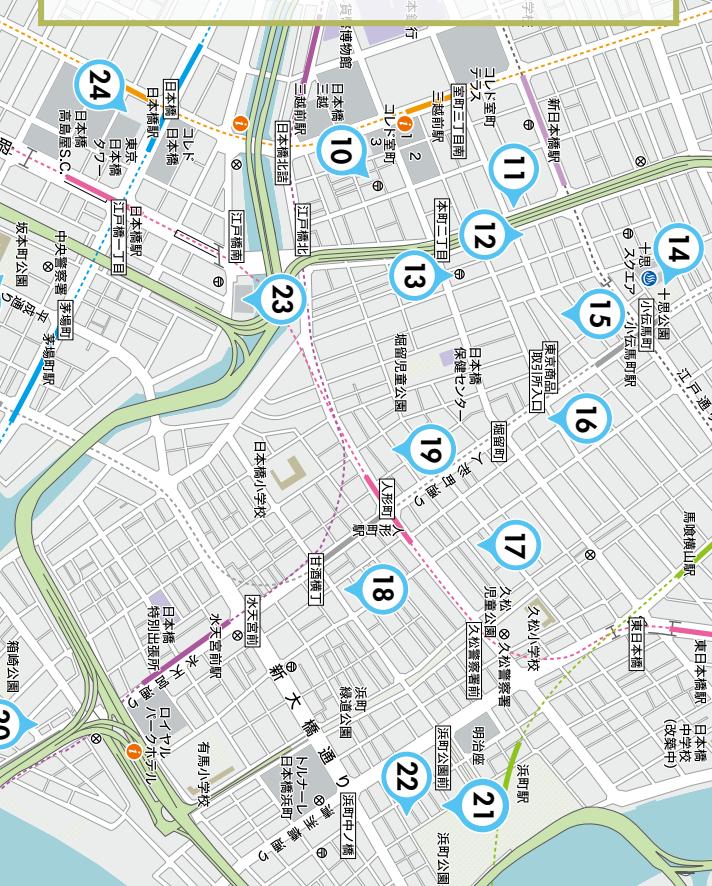
東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル / 03-3662-1184
月~土曜日(年末年始等を除く) / 10:00~18:00
年末年始の営業 ◎年末:12/26(金)正午まで ◎年始:1/5(月)から

※臨時休館や開館時間変更している場合があります。詳しくは各館にお問い合わせください。

スタンプを設置している展示館です。

まちかど展示館MAP

- 江戸ほつき展示館
- 伝擅・仏具の歴史館
- 渡邊木版画展示館
- 月光荘画材展示館
- 鍛物なめ屋かんざし和装小物展示館
- 足袋の博物館
- ミズノアントレーニングミュージアム
- 松竹大谷図書館
- のれん・提灯・下絵の展示館
- 天手町駅
- 伊場仙洋世紀ミュージアム
- 小伝馬町牢屋敷展示館
- 江戸屋所蔵刷毛フラッシュ展示館
- 江戸市田瀬吳服問屋ミュージアム
- 江戸東京組紐龍工房体験展示館
- つづら学習館
- 三勝のかた博物館
- 箱崎町箱四町会神輿庫
- 染物展示館・虎の櫻
- 江戸表具展示館
- 三菱倉庫江戸歴史展示ギャラリー
- 篠崎町ギャラリー
- 聚玉文庫ギャラリー
- 兜町・茅場町まちかど展示館
- 染物展示館・虎の櫻
- 勝どき・豊海歴史資料展示館
- ふるさと晴海資料展示館
- 江戸屋所蔵刷毛フラッシュ展示館



20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

